

入札説明書

購入等件名 消防ヘリコプター

公 告 日 令和5年5月25日
(広島市報調達号外第689号)

上記に係る入札等については、「地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令」（平成7年政令第372号）その他の関係法令に定めるもののほか、この入札説明書による。

広島市消防局総務課

入札説明書

I 入札全般に関する事項

1 契約担当課

広島市消防局総務課

〒730-0051 広島市中区大手町五丁目20番12号

電話 082-546-3416 (直通)

電子メールアドレス fs-somu@city.hiroshima.lg.jp

2 調達内容

(1) 購入等件名

消防ヘリコプター

(2) 品名及び数量

消防ヘリコプター 1機

(3) 調達件名の特質等

別紙仕様書のとおり。

(4) 納入期限

令和8年2月13日

ただし、令和7年9月30日までに、本市の指定する場所において、本市の指定する職員等が慣熟訓練等を実施できることとすること。詳細は仕様書による。

(5) 予定価格

2,930,000,000円(消費税及び地方消費税相当額を除く。)

(6) 納入場所

広島市消防局消防航空隊基地

(広島市西区観音新町四丁目10番2号)

3 入札区分

(1) 本件業務に係る入札は、地方自治法施行令(以下「施行令」という。)第167条の10の2第1項に規定する総合評価一般競争入札の方法により行う。

(2) 本件業務に係る入札は、広島市電子入札システムを利用しない紙面による入札とする。

4 競争入札に参加する者に必要な資格

次に掲げる競争入札参加資格を全て満たしていること。

(1) 施行令第167条の4及び広島市契約規則(以下「規則」という。)第2条の規定に該当しない者であること。

(2) 広島市競争入札参加資格「令和5・6・7年」の「物品の売買、借入れ、修繕及び製造の請負並びに役務(建設コンサルティングサービスに係る役務を除く。)の提供」の契約の種類「物品の売買、修繕及び製造の請負」の登録種目「04-05 船舶、航空機」に登録されている者であること。

(3) 広島市税並びに消費税及び地方消費税を滞納していない者であること。なお、広島市に納税義務が

ない場合は、申立書（第2号様式）を提出すること。

- (4) 入札公告の日から落札者の決定の日までの間のいずれの日においても、営業停止処分又は本市の指名停止措置若しくは競争入札参加資格の取消しを受けていないこと。
- (5) 次に掲げる者でないこと。
 - ア 後記13(5)に掲げる審査委員会の委員又は特別委員
 - イ 後記13(5)に掲げる審査委員会の委員又は特別委員が自ら主宰し、又は役員若しくは顧問として関係する法人その他の組織及び当該組織に所属する者
- (6) 平成25年4月1日以降に、国、都道府県、政令指定都市又はこれらと同程度の規模を有する中央政府若しくは地方政府の機関において、消火・救急・救助等の消防活動が行える消防ヘリコプター調達の履行実績を有すること。

5 競争参加資格申込（一般競争入札参加資格確認申請書等の提出）

入札に参加を希望する者は、次により一般競争入札参加資格確認申請書等を提出し、入札参加申込みをしなければならない。ただし、同一者が2以上の参加申込事業者となることはできない。

(1) 一般競争入札参加資格確認申請書等様式の交付方法

広島市のホームページ（後記15(12)を参照のこと。以下同じ。）からダウンロードできる。ただし、これにより難い場合は、次により交付する。

ア 交付期間

入札公告の日から令和5年6月22日（木）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

イ 交付場所

前記1に同じ。

(2) 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出

次のとおり一般競争入札参加資格確認申請書及び競争入札参加資格の確認に必要な書類を作成して、持参又は郵送（配達証明付書留郵便）により提出するものとする。

郵送する場合にあつては、提出書類を同一の封筒に入れ、封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る一般競争入札参加資格確認申請書」在中」と朱書し、配達証明付書留郵便により郵送しなければならない。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書（総合評価一般競争入札用）（第1号様式）

イ 広島市税の納税証明書（写し）

(ア) 「令和〇〇年〇月〇〇日（直近の証明可能な日）以前に納付すべき市税について、滞納の税額がない。」旨の記載のある本市の納税証明書とし、写しも可能とする。

(イ) 証明年月日が一般競争入札参加資格確認申請書提出日から3か月前の日以降のものに限る。

(ウ) 広島市に納税義務がない場合は、本市所定の申立書（第2号様式）を提出すること。

ウ 消費税及び地方消費税の納税証明書（写し）

(ア) 「未納の税額がない。」旨の記載のある税務署の納税証明書（「その3」「その3の2」「その3の3」のいずれか）とし、写しも可とする。

(イ) 電子納税証明書は不可とする。

(ウ) 証明年月日が一般競争入札参加資格確認申請書提出日から3か月前の日以降のものに限る。

エ 誓約書（第3号様式）

後記 13(5)に掲げる審査委員会の委員又は特別委員でないこと、並びに後記 13(5)に掲げる審査委員会の委員又は特別委員が自ら主宰し、又は役員若しくは顧問として関係する法人その他の組織及び当該組織に所属する者でないことの誓約として提出すること。

オ 履行実績調書（第4号様式）

(ア) 入札公告に記載した入札参加条件の履行実績に該当するものを記載すること。3件以上実績がある場合は、直近2件を記載すること。

(イ) 契約書の抜粋（変更がある場合は、変更後も含む。）、仕様書等、入札参加条件とした履行実績の具体的な内容が確認できる書類の写しを添付すること。

(3) 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出期限

ア 持参による場合の提出期間及び提出場所

(ア) 提出期間

入札公告の日から令和5年6月22日（木）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 提出場所

前記1に同じ。

イ 郵送（配達証明付書留郵便）による場合の提出期限及び提出先

(ア) 提出期間

入札公告の日から令和5年6月22日（木）の午後5時まで ※提出先に必着させること。

(イ) 提出先（送付先）

前記1に同じ。

(4) 申込後の辞退

一般競争入札参加資格確認申請書を提出した後に入札を辞退する場合は、開札までに入札辞退届により入札の辞退を届け出ること。なお、開札後の辞退は認めない。

なお、入札辞退届様式は、広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、後記8(1)ア及びイにより交付する。

(5) その他

入札に参加を希望する者は、開札日の前日までの間において、一般競争入札参加資格確認申請書その他前記(2)により入札に参加を希望する者が提出しなければならない書類に関し、本市から説明又は追加資料の提出を求められた場合、これに応じなければならない。

6 広島市競争入札参加資格の認定を受けていない者の参加

前記4(2)に掲げる広島市競争入札参加資格の認定を受けていない者も、前記5により一般競争入札参加資格確認申請書を提出することができるが、入札に参加するためには、本市所定の申請書に必要事項を記載の上、添付書類を添えて次のとおり提出し、開札の時までに広島市競争入札参加資格の認定を受けていなければならない。

(1) 申請期間

ア 入札公告の日から令和5年6月15日（木）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

イ 前記期間の経過後に申請した場合は、本件調達に係る開札時の時までに当該申請に係る資格審査を終了できないおそれがある。

(2) 申請書等の交付方法、提出場所及び問合せ先等

ア 交付方法

広島市のホームページ (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/>) のトップページの「事業者向け情報」→「入札・契約情報」→「資格審査申請や変更届など」→関連情報の「物品・役務等競争入札参加資格審査申請について（WTO案件）」に掲載する。

イ 提出場所及び問合せ先

広島市財政局契約部物品契約課（広島市役所本庁舎15階）
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
電話 082-504-2083（直通）

ウ 提出方法

申請書及び添付書類は、前記イの場所に持参するものとし、郵送、ファクシミリ、e-mail などによる申請は受け付けない。

エ 申請者の義務

申請者は、本市から申請者等に関し説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

7 資格審査及び審査結果の通知

- (1) 本市は、入札に参加を希望する者から提出された一般競争入札参加資格確認申請書その他の前記5により入札に参加を希望する者が提出しなければならない書類を基に入札参加資格を審査する。
- (2) 入札参加資格の審査結果については、後日連絡する。

8 契約条項を示す場所等

(1) 契約条項を示す場所

広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、次により交付する。

ア 交付期間

入札公告の日から令和5年7月6日（木）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

イ 交付場所

前記1に同じ。

(2) 入札書、入札説明書の交付方法

広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、前記(1)ア及びイにより交付する。

(3) 仕様書等に関する質問

ア 仕様書等に関する質問がある場合は、次により、仕様書等に関する質問書を提出すること。

なお、仕様書等に関する質問書様式は、広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、前記(1)ア及びイにより交付する。

(イ) 提出期間

入札公告の日から令和5年6月19日（月）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 提出場所（提出先）及び問合せ先

前記1に同じ。

(ウ) 提出方法

電子メール、郵送（配達証明付書留郵便）又は持参とする。

ただし、電子メールにより行う場合は、電子メールの送信後に前記1の連絡先へ必ず電話連絡のうえ、到達を確認すること。

イ 前記アの質問に関する回答は、質問を受けた日の翌開庁日以後において、次のとおり閲覧に供する方法で回答する。

また、電子メールにより仕様書等に関する質問書の内容及びその回答を一覧にしたものを、一般競争入札参加資格確認申請書を提出した入札参加希望者に対して令和5年6月23日（金）以降に送信する。

(ア) 閲覧期間

令和5年5月26日（金）から令和5年7月6日（木）までの日（広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで

(イ) 閲覧場所

前記1に同じ。

9 入札の方法

(1) 入札金額は総価を記載すること。

(2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(3) 落札者の決定は、施行令第167条の10の2第1項の規定により行うので、提案に係る書類（以下「提案書等」という。）を入札書と同時に提出すること。

10 入札回数

入札回数は1回限りとし、この結果、落札者となるべき者がいない場合は、入札を打ち切る。

11 入札書等の提出方法

(1) 入札書等の提出方法

次のとおり、持参又は郵送（配達証明付書留郵便）により提出すること。

ア 持参による場合

入札書の持参により入札に参加する場合は、次の(ア)及び(イ)に掲げる書類を入れたそれぞれの封筒を同一の持参用の封筒に入れ、その封筒には、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印し、封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る入札書等」在中」と朱書きするとともに、封筒の裏に入札参加者の住所、商号又は名称、FAX番号及び業者番号を記載し、後記(2)ア(ア)の提出期間（以下「持参提出期間」という。）内に後記(2)ア(イ)に持参すること（後記「入札書等の提出方法（持参）」参照）。

同様に、後記(ウ)に掲げる書類を入れた封筒を持参用の封筒に入れ、その封筒には、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印し、封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係

る提案書等」在中」と朱書きするとともに、封筒の裏に入札参加者の住所、商号又は名称、FAX 番号及び業者番号を記載し、持参提出期間内に後記(2)ア(イ)に持参すること（後記「入札書等の提出方法（持参）」参照）。

入札書等が持参提出期間内に持参されなかった場合は、当該入札に参加していない扱いとする。

(ア) 入札書

入札書には、入札金額等の必要事項を記載し、記名・押印（押印は、あらかじめ使用印鑑として本市に届け出ている印鑑によること。）したうえ、定形封筒（長形3号又は長形4号（JIS規格））に入れ、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印すること。封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る入札書」在中」と表示し、商号又は名称を記載（いずれも黒色で可）すること。

なお、入札書は本市所定の様式（広島市のホームページに掲載。又は前記8(1)ア及びイにより交付。）を使用して作成すること。

(イ) 委任状

代表者及び届出代理人（代表者から継続して委任を受けている旨の届出がされている者。以下この項において「代表者等」という。）でない者が、当該入札において代理人（届出代理人から委任を受けている復代理人を含む。）として入札する場合は、代表者等からの委任状を前記(ア)の封筒に同封すること（外国事業者にあつては、押印を署名に代えることができる。）。

代理人として入札する場合は、入札書の入札者住所氏名欄の記載は次のとおりとなるので、注意すること。

（入札者住所氏名欄の記載例）

〇〇市〇〇町〇番〇号

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

上記代理人 〇〇 〇〇 印

なお、委任状は、広島市のホームページからダウンロードすることができる。ただし、これによりがたい場合には、前記8(1)ア及びイにより交付する。

(ウ) 提案書等

提案書等の作成方法については、「Ⅱ 提案書等作成要領」を参照のこと。

イ 郵送（配達証明付書留郵便）による場合

入札書の郵送（配達証明付書留郵便）により入札に参加する場合は、次の(ア)及び(イ)に掲げる書類を入れたそれぞれの封筒を同一の郵送用の封筒に入れ、その封筒には、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印し、封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る入札書等」在中」と朱書きするとともに、封筒の裏に入札参加者の住所、商号又は名称、FAX 番号及び業者番号を記載し、後記(2)イ(ア)の提出期間（以下「郵送提出期間という。）内に後記(2)イ(イ)に「親展」で郵送（配達証明付書留郵便）すること（後記「入札書等の郵送方法」参照）。

同様に、次の(ウ)に掲げる書類を入れた封筒を郵送用の封筒に入れ、その封筒には、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印し、封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る提案書等」在中」と朱書きするとともに、封筒の裏に入札参加者の住所、商号又は名称、FAX 番号及び業者番号を記載し、郵送提出期間内に後記(2)イ(イ)に「親展」で郵送（配達証明付書留郵便）すること（後記「入札書等の郵送方法」参照）。

入札書等が郵送提出期間内に郵送（配達証明付書留郵便）されなかった場合は、当該入札に参加していない扱いとする。

なお、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。

(ア) 入札書

入札書には、入札金額等の必要事項を記載し、記名・押印（押印は、あらかじめ使用印鑑として本市に届け出ている印鑑によること。）した上、定形封筒（長形3号又は長形4号（JIS規格））に入れ、入札書に押印した印鑑と同じ印鑑で封印すること。封筒の表に「令和5年7月7日開札「消防ヘリコプターの調達に係る入札書」在中」と表示し、商号又は名称を記載（いずれも黒色で可）すること。

なお、入札書は本市所定の様式（広島市のホームページに掲載。又は前記8(1)ア及びイにより交付。）を使用して作成すること。

(イ) 委任状

代表者及び届出代理人（代表者から継続して委任を受けている旨の届出がされている者。以下この項において「代表者等」という。）でない者が、当該入札において代理人（届出代理人から委任を受けている復代理人を含む。）として入札する場合は、代表者等からの委任状を前記(ア)の封筒に同封すること（外国事業者にあつては、押印を署名に代えることができる。）。

代理人として入札する場合は、入札書の入札者住所氏名欄の記載は次のとおりとなるので、注意すること。

（入札者住所氏名欄の記載例）

〇〇市〇〇町〇番〇号

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

上記代理人 〇〇 〇〇 印

なお、委任状は、本市所定の様式（広島市のホームページに掲載。又は前記8(1)ア及びイにより交付。）を使用して作成すること。

(ウ) 提案書等

提案書等の作成方法については、「Ⅱ 提案書等作成要領」を参照のこと。

(2) 入札書等の提出期間等

ア 持参による場合の提出期間及び提出場所

(ア) 提出期間

令和5年7月5日（水）の午前8時30分から午後5時まで及び同月6日（木）の午前8時30分から午後3時まで

(イ) 提出場所

前記1に同じ。

入札書等が上記期間内に持参されなかった場合は、当該入札に参加していない扱いとする。

イ 郵送（配達証明付書留郵便）による場合の提出期間及び提出先

(ア) 提出期間

入札公告の日から令和5年7月6日（木）の午後3時まで ※提出先に必着させること。

(イ) 提出先（送付先）

前記1に同じ。

入札書等が上記期間内に提出先に届かなかつた場合は、当該入札に参加していない扱いとする。

(3) 共通事項

入札書等の提出後は、入札（開札）日時前であっても、提出された入札書等の書換え、差替え又は撤回等は一切認めない。

12 開札等

(1) 開札の日時及び場所

ア 日時 令和5年7月7日（金）午前10時00分

イ 場所 広島市中区大手町五丁目20番12号
広島市消防局・中消防署4階 第2会議室

(2) 開札

ア 入札参加者のうち開札の立会いを希望する者は、立ち会うことができる（立ち会うことができる者は、1者につき1名とする。）。

入札参加者が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて行う。

イ 入札参加者は、開札時刻後においては、開札場所に入室することはできない。

ウ 入札参加者は、開札場所に入室しようとするときは、入札執行職員の求めに応じ競争入札参加資格を証する書類（資格審査結果通知書の写し）、身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示しなければならない。

エ 入札参加者は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ないと認めた場合のほか、開札場所を退出することができない。

オ 開札結果は、開札場所において入札の有効、無効のみ発表する。

13 落札者の決定

落札者の決定は、施行令第167条の10の2第1項の規定により行うので、提案書等の内容を後記(5)の審査委員会で公正かつ客観的に評価したうえで、入札価格の評価を加算し、総得点の最も高い入札参加者が落札者となる。詳細は、「Ⅲ 落札者決定基準」を参照のこと。

(1) 入札参加者が1者の場合の取扱い

入札参加者が1者の場合でも、2者以上の場合と同様に、本入札説明書に従って入札されている場合には、提案内容及び入札価格等に評価点を与え落札者を決定する。

(2) 落札結果の通知

落札結果は、全ての入札参加者に、速やかに通知する。

落札結果に関する質問等については、落札結果を通知した日の翌日から起算して7日以内（ただし、広島市の休日を定める条例（平成3年広島市条例第49号）に既定する休日は含まない。）に、書面により、説明を求めることができる。

契約担当課は、その書面を受け付けた日の翌日から起算して10日以内（ただし、広島市の休日を定める条例（平成3年広島市条例第49号）に既定する休日は含まない。）に、書面により回答する。

(3) 入札参加者の入札価格等の公表

全ての入札参加者の商号、入札価格、技術点及び価格点は、落札決定後これを公表する。

(4) ヒアリング等の実施

落札者決定基準による評価については、提出された提案書等に基づいて行う。提案書等に関するヒ

アリングを令和5年7月下旬頃に実施する予定である。詳細は日程等を含めて、7月中旬頃に通知する。

ヒアリングは、入札に参加した者によるプレゼンテーション及び後記(5)の審査委員会の委員からの質疑の形態とする。

プレゼンテーションは、原則、質疑応答ができる者(出席者は質疑応答ができる者を含む3名以内)が実施すること。

ヒアリングを欠席した入札参加者については、技術点の評価を行わない。

(5) 消防ヘリコプターの調達総合評価審査委員会

本件業務に係る入札に関して、落札決定基準に関する事、提案書等の審査・評価に関する事及び落札者の決定に関する事等を審査するため、「消防ヘリコプターの調達総合評価審査委員会」を設置している。委員及び特別委員は次のとおりである。

ア 委員

- (ア) 消防局次長
- (イ) 消防局警防部長
- (ウ) 消防局警防部救急担当部長
- (エ) 消防局総務課長
- (オ) 消防局施設課長
- (カ) 消防局警防部警防課長
- (キ) 消防局警防部警防課消防航空担当課長

イ 特別委員(施行令第167条の10の2第4項に規定する学識経験者)

- (ア) 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門
航空利用拡大イノベーションハブ 主幹研究開発員 小林 啓二
- (イ) 大阪市消防局警防部 航空隊長 井上 久徳

14 本件業務の履行に当たって

- (1) 本件業務の履行に当たっては、関係法令並びに規則等の諸規定及び広島市委託契約約款等の規定を遵守しなければならない。
- (2) 広島市発注契約に係る暴力団等排除措置要綱第2条第1項から第5項までに規定する者に該当する事業者が、次に掲げる者として選定されることがないように、必要な措置を講じなければならない。
 - ア 本市発注契約に係る下請契約等(広島市競争入札参加資格者指名停止措置要綱第1条の2第3号に規定する下請契約等をいう。以下同じ。)の当事者
 - イ 本市発注契約に基づいて行われる資材、原材料等の売買その他の契約(下請契約等を除く。)の当事者又は代理若しくは媒介をする者なお、上記に掲げる事業者が本件業務を履行するための下請契約等の当事者又は資材、原材料等の売買その他の契約の当事者となっていた場合には、本件業務の契約を解除し、及び指名停止措置を行うことがある。
- (3) 本件業務の履行に当たり、広島市発注契約に係る暴力団等排除措置要綱第2条第6項に規定する暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに本市に報告するとともに、所轄の警察署に届け出なければならない。報告又は届出がない場合は、指名停止措置を行うことがある。

15 その他

(1) 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金

免除。ただし、落札決定後に落札者が、契約の辞退をするなど契約を締結しないときは、規則第2条の規定により競争入札参加資格の取消しを行う。また、契約予定金額に対する入札保証金相当額（5パーセント）の損害賠償金を請求する。

(3) 入札の無効

次に掲げる入札は、無効とする。

ア 本件公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び開札日時以後、落札者の決定までの間に前記4(4)の本市の競争入札参加資格の取消し若しくは指名停止措置を受け、又はその他の一般競争入札参加資格を満たさなくなった者がした入札

イ 一般競争入札参加資格確認申請書等の書類に虚偽の記載をした者がした入札

ウ 入札金額を訂正したもの

エ 予定価格を上回る額の入札

オ その他規則第8条各号のいずれかに該当する入札（ただし、外国事業者が同条第1号の押印に代えて署名したものを除く。）

カ 「物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則」（平成7年広島市規則第132号）第7条第5項の規定に基づき入札書を受領した場合で、同項の規定に係る資格審査が開札日時までに終了しないとき又は競争入札参加資格を有すると認められなかったときにおける入札

(4) 契約保証金

契約を締結する場合においては、契約締結日までに契約金額の100分の10以上の契約保証金を納付しなければならない。ただし、保険会社との間に広島市を被保険者とする履行保証保険を締結して、広島市に当該保険証券を提出したとき、又は、過去2年間に国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を2回以上締結し、これらをすべて誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められたときは、契約保証金の納付を免除する。

なお、履行保証保険契約の締結に当たっては、事前に保険取扱機関の審査が必要であり、落札決定後や契約締結日になって初めて保険の申込みをすると保険の締結ができない場合があることから、必ず事前のできるだけ早い時期に保険取扱機関と相談しておくこと。

(5) 契約手続における交渉の有無

無

(6) 費用負担

一般競争入札参加資格確認申請書等及び提案書等の作成及び提出に必要な費用は、入札参加者の負担とする。

また、落札者は、本市と協議しながら、履行開始日から円滑に本件調達をおこなうことができるように、自らの責任において準備を行い、準備に必要な費用を負担することとする。

(7) 契約書の作成

ア 本件契約は、議会の議決を要するため、落札者と仮契約を締結するものとし、広島市議会の議決後に本契約を締結する。ただし、仮契約締結後、本契約を締結するまでの間に、受注者に著しく信義に反する行為があったことが明らかになったとき及び受注者が破産等により、本市が契約の履行

が困難と認めるときは、本市は仮契約を解除することができる。

イ 落札者は、落札決定した日から5日以内の日（最終日が、広島市の休日を定める条例第1条第1項各号に掲げる日に当たるときは、最終日後において、最終日に最も近い同項各号に掲げる日でない日）に仮契約書を取り交わすものとする。

ウ 落札者が前記イまでに仮契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すとともに、広島市競争入札参加資格を取り消す。また、落札決定を取り消された者は、入札保証金相当額の損害賠償金（契約予定金額の100分の5に相当する額）を支払うものとする。

エ 仮契約書は2通作成し、本市及び落札者がそれぞれ、記名・押印の上、各1通を保有する。
ただし、外国事業者にあつては、押印を署名に代えることができる。

オ 仮契約書の作成に要する費用は、全て落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は本市が交付する。

カ 広島市議会の議決後、落札者が本契約の契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すとともに、広島市競争入札参加資格を取り消す。また、落札決定を取り消された者は、入札保証金相当額の損害賠償金（契約予定金額の100分の5に相当する額）を支払うものとする。

キ 契約書は2通作成し、本市及び落札者がそれぞれ、記名・押印の上、各1通を保有する。

ク 契約書の作成に要する費用は、全て落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は本市が交付する。

ケ 本契約は、本市が契約の相手方とともに契約書に記名して押印しなければ、確定しないものとする。ただし、外国事業者にあつては、押印を署名に代えることができる。

(8) 契約条項

別紙、仮契約書（案）、契約書（案）及び契約約款のとおり。

(9) 入札の中止等

本件入札に関して、天災地変があつた場合、郵便による事故の発生により郵便による入札の執行が困難な場合又は入札参加者の談合や不穏な行動の情報があつた場合など、入札を公正に執行することができないと判断されるときは、入札の執行を延期又は中止することがある。

また、開札後においても、発注者の入札手続の誤りなどにより入札の公正性が損なわれると認められたときは入札を中止することがある。

なお、入札公告後に入札中止、訂正又は入札関係資料の修正を行う場合には、本市のホームページ（<https://www.city.hiroshima.lg.jp/>）のトップページの「事業者向け情報」→「電子入札」→「調達情報公開システム」の「一般公開用」→「中止公告・訂正公告・入札関係資料の修正を行った案件」に掲載するので入札前に確認すること。

(10) 秘密保持

提出された一般競争入札参加資格確認申請書や提案書等に係る内容は、落札者決定の目的以外に提出者に無断で使用することはない。

また、その内容は、後記Ⅱ1の提案書評価用を除き、他者に知られることはない。ただし、広島市情報公開条例に第7条に基づき、開示請求があつたときは、契約担当部局は法人等の競争上又は事業運営上の地位を害すると認められるもの等の不開示情報を除いて、開示請求者に開示する。

(11) 本調達は、2012年3月30日ジュネーブで作成された政府調達に関する協定を改正する議定書によって改正された1994年4月15日マラケシュで作成された政府調達に関する協定（以下「改正協定」という。）、経済上の連携に関する日本国と欧州連合との間の協定（以下「日欧協定」という。）、包括的な経済上の連携に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協

定（以下「日英協定」という。）の適用を受ける調達であるため、改正協定第18条、日欧協定第10.12条、日英協定第10.12条に定める苦情処理手続きにより、調達者が契約を締結すべきでない旨又は契約の執行を停止すべき旨の判断をしたときは、契約締結の留保又は契約の解除を行うことができる。

(12) この入札に関する資料等（入札関係資料等）は、次のとおりである。

入札関係資料等	掲載場所
<ul style="list-style-type: none"> ・入札公告（写し） ・入札説明書 ・仕様書 ・提案書に記載する事項 ・仮契約書（案） ・契約書（案）及び契約約款 ・（第1号様式）一般競争入札参加資格確認申請書 ・（第2号様式）申立書 ・（第3号様式）誓約書 ・（第4号様式）履行実績調書 ・（第5号様式）提案書表紙 ・（第6号様式）提案書付属資料表紙 ・（第7号様式）機能要件対応回答書 ・（第8号様式）重量表 ・（第9号様式）待機時の搭載燃料の設定 ・（第10号様式）山岳救助能力判定表 ・（第11号様式）空中消火能力判定表 ・（第12号様式）救急搬送能力判定表 ・（第13号様式）長距離輸送能力判定表 ・（第14号様式）騒音判定表 ・（第15号様式）ランニングコスト判定表 ・（第16号様式）点検整備に要する期間 ・（第17号様式）機体組立等受託証明書 ・（第18号様式）障害者雇用状況調書 	<p>広島市のホームページ （https://www.city.hiroshima.lg.jp/）のトップページの「事業者向け情報」→「電子入札」→「調達情報公開システム」の「一般公開用」→「カテゴリ検索 入札・見積り情報」→「物品 総合評価一般競争入札（WTO）」からダウンロードできる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入札書様式 ・委任状様式 ・入札辞退届様式 ・仕様書等に関する質問書様式 ・物品売買等競争入札参加者の手引 ・入札参加資格の確認に係る納税証明書について ・契約保証金の納付等について 	<p>広島市のホームページ （https://www.city.hiroshima.lg.jp/）のトップページの「事業者向け情報」→「電子入札」→「調達情報公開システム」の「一般公開用」→「各種様式集」→「物品・役務の一覧」からダウンロードすること。</p>

(13) 注意事項

- ア 一般競争入札参加資格確認申請書又は提案書等について虚偽の記載をし、その他不正の行為をした場合は、失格、指名停止その他の措置を講ずることがある。
- イ 落札者決定基準に定めた評価項目、評価基準以外のもので評価することはない。ただし、ヒアリングを欠席した場合を除く。
- ウ 入札に参加しようとする者は、「消防ヘリコプターの調達総合評価審査委員会」の委員又は特別委員の選任後から落札者決定の公表までの間において、本契約案件に関し、直接、間接を問わず、自らを有利に、又は他者を不利にするように、委員又は特別委員に対して働きかけることを禁ずるものとし、この禁止事項に抵触したと認められる場合には、失格にするとともに指名停止措置を行うことがある。
- エ 落札者の提案書等の内容については、契約書の一部とする。

入札書等の提出方法（持参）

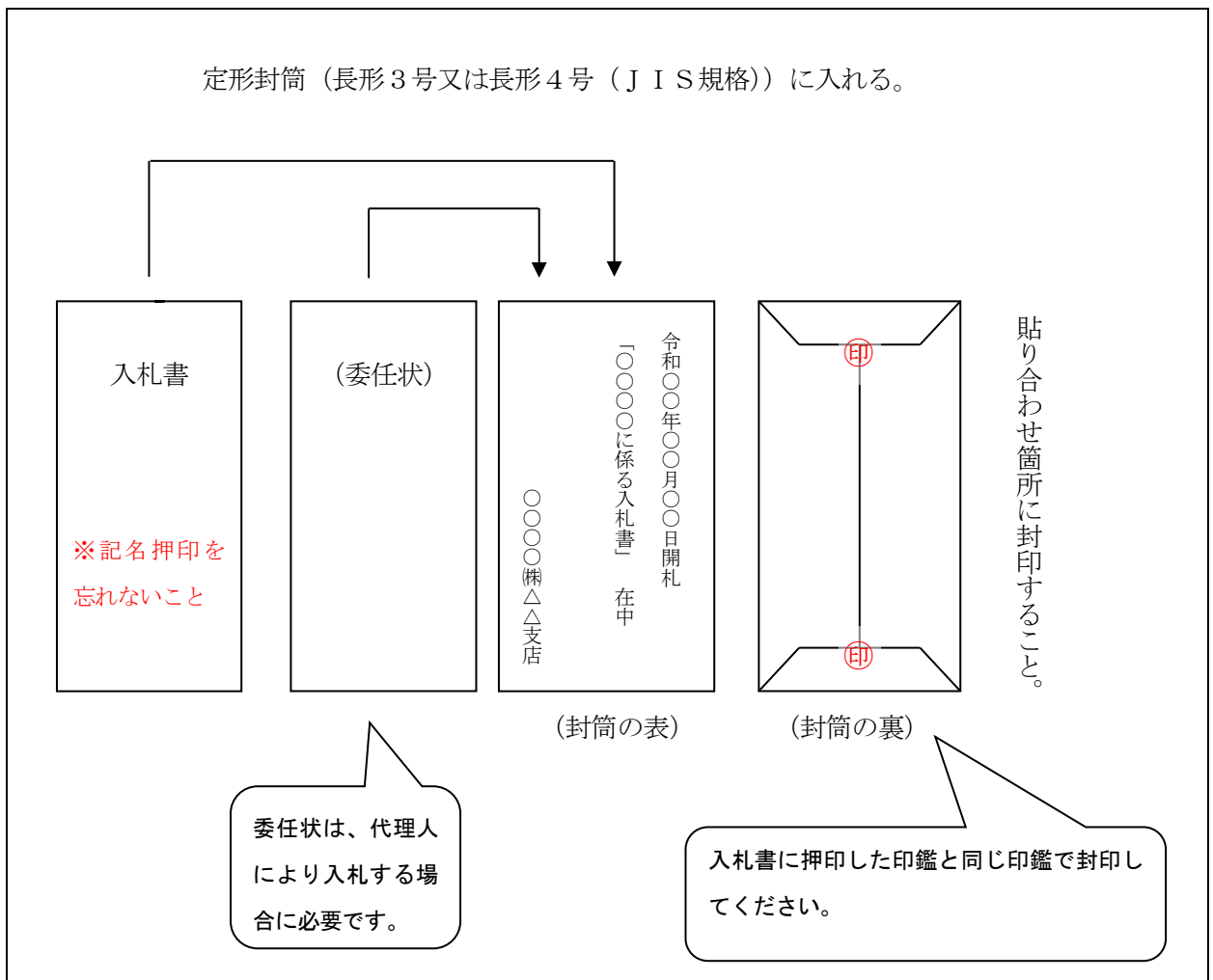
持参により入札に参加するときは、次に掲げる書類を入札公告に定める提出期間内に広島市長（広島市消防局総務課）に提出してください。

- (1) 入札書（封印すること。）
- (2) 委任状（代理人として入札する場合に必要です。）
- (3) 提案書等（後記Ⅱ提案書等作成要領による。）

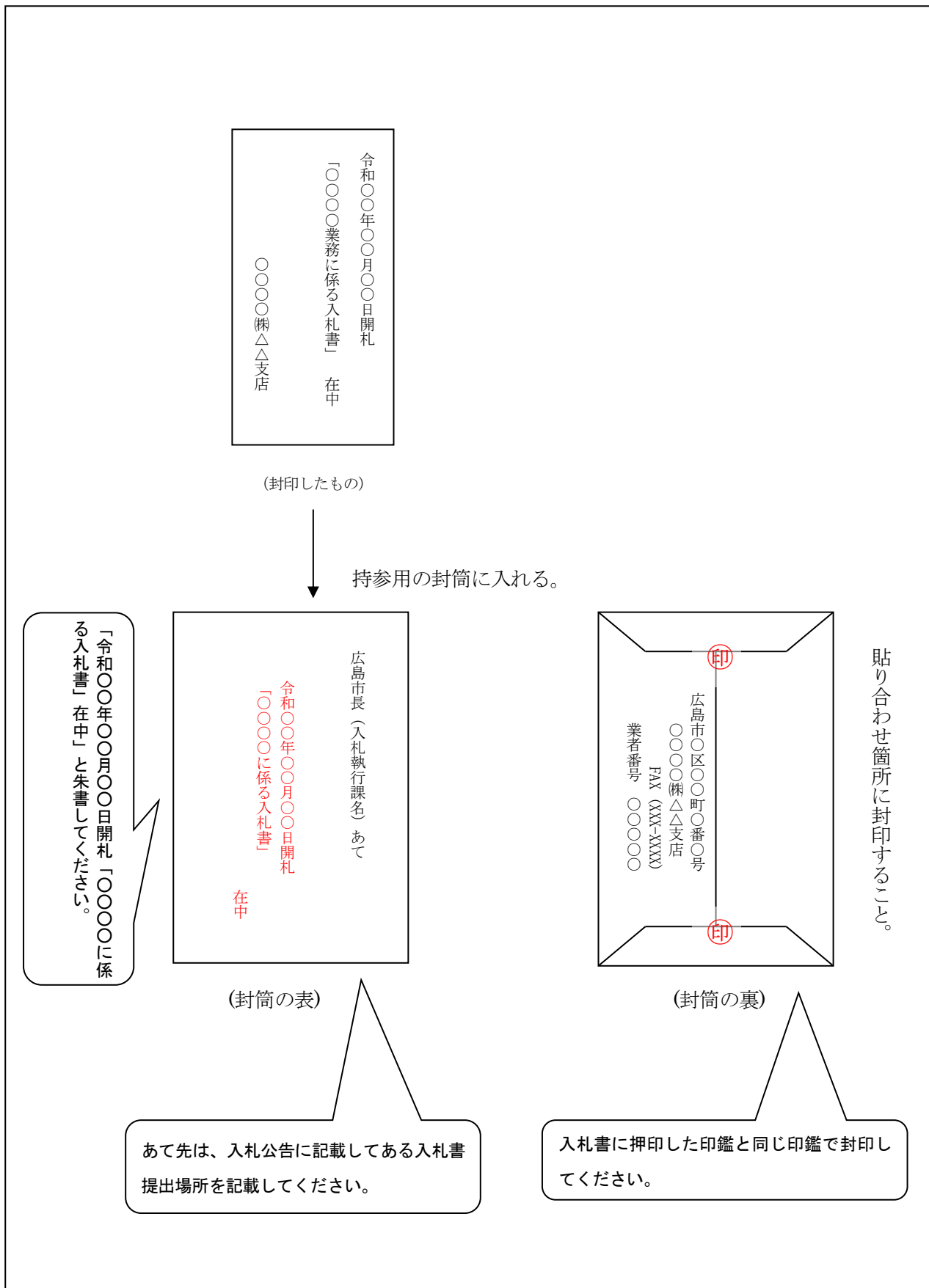
提出・封印に当たっての具体的な方法は、以下の図を参照して次の1から3の順に封印等を行ってください。

※ 1から3の順に封印したものを同封できる場合は、同封しても良いが、封筒の表面には「〇〇〇〇業務に係る入札書及び提案書等」在中の表示（朱書）に変更すること。

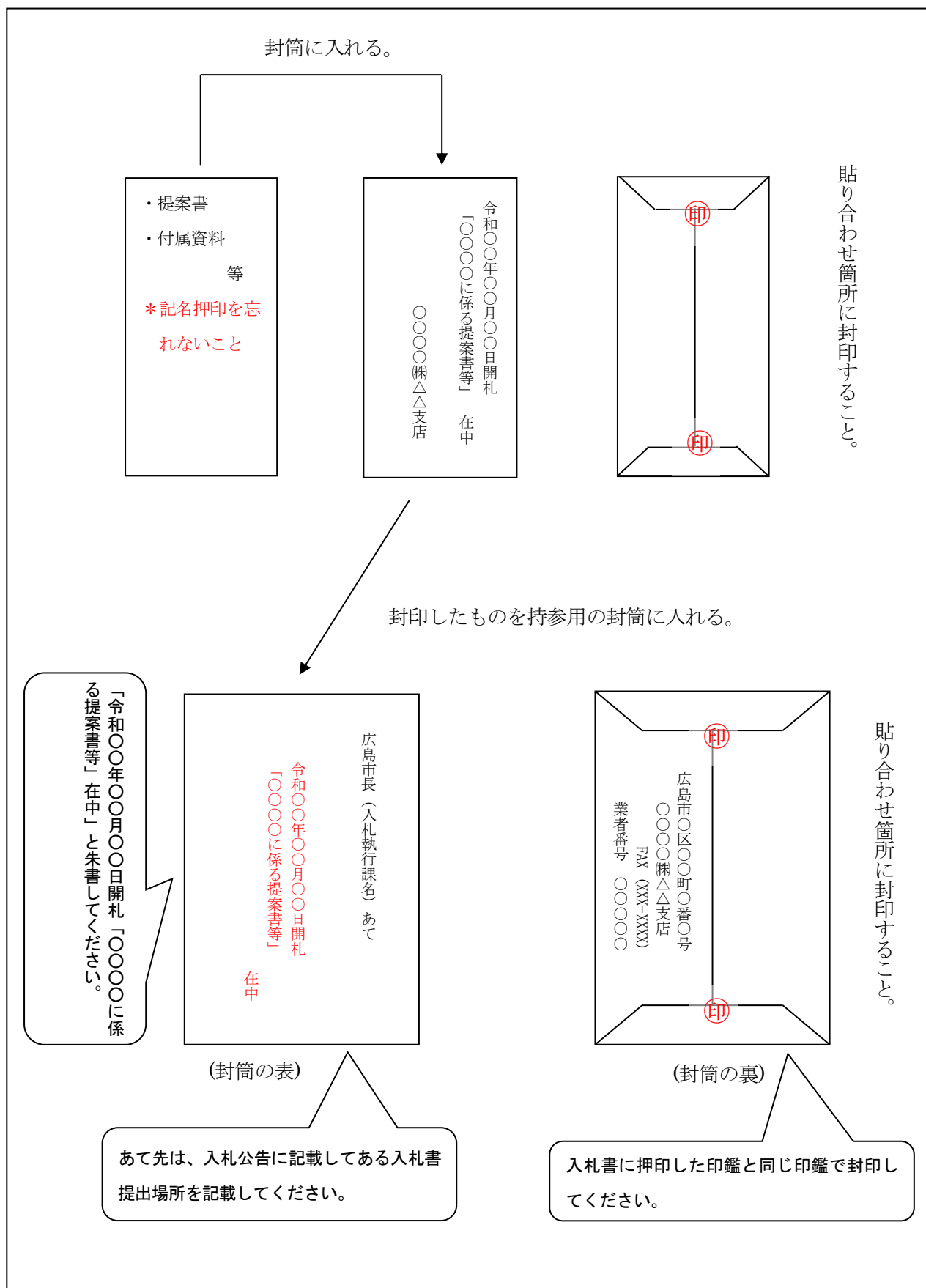
1 入札書の封印



2 入札書（封印済）の封入



3 提案書の封入



入札書等の郵送方法

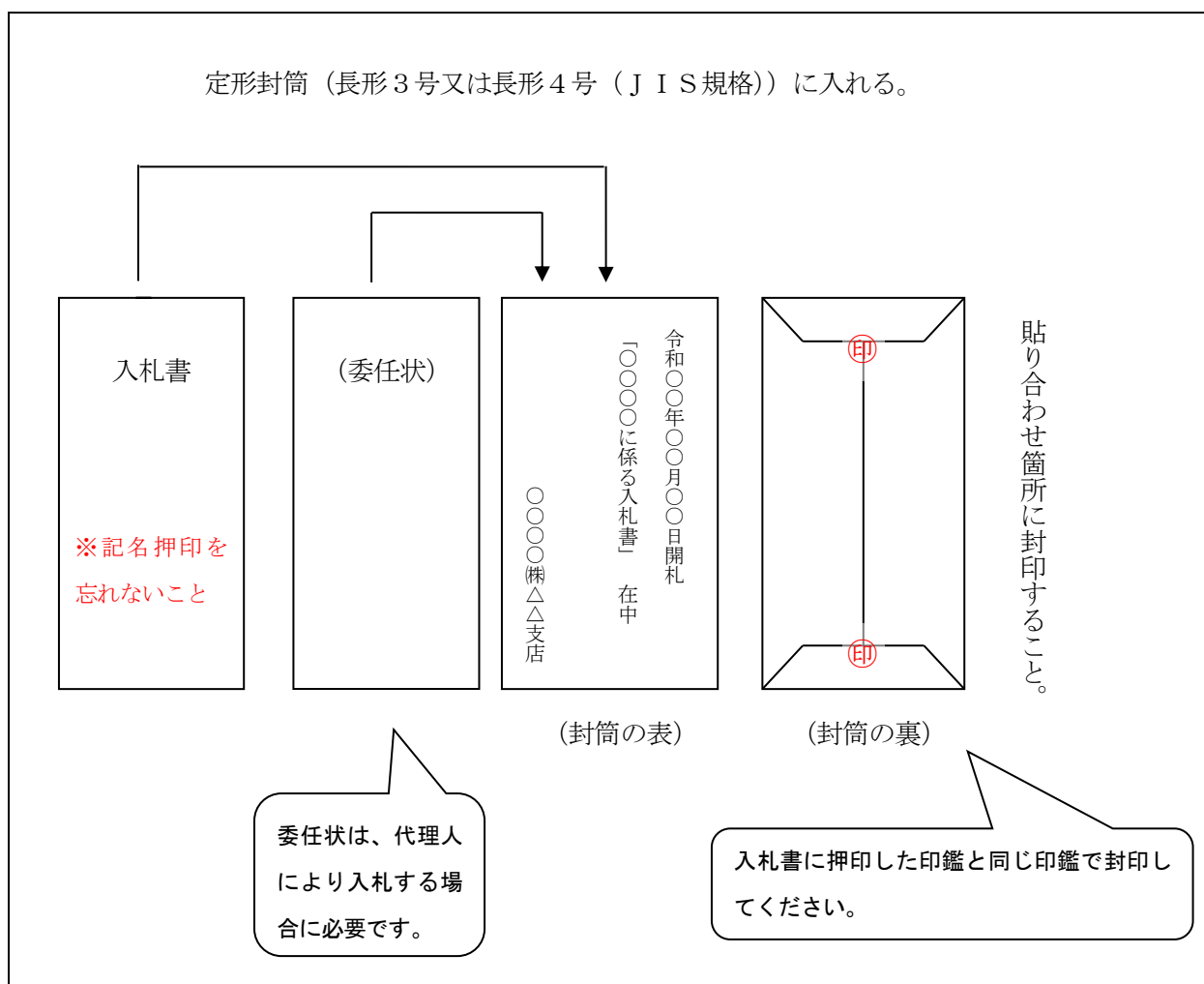
郵送により入札に参加するときは、次に掲げる書類を入札公告に定める提出期間内に配達証明付書留郵便により、広島市長（広島市消防局総務課）あてに親展で郵送しなければなりません。

- (1) 入札書（封印すること。）
- (2) 委任状（代理人として入札する場合に必要です。）
- (3) 提案書等（後記Ⅱ提案書等作成要領による。）

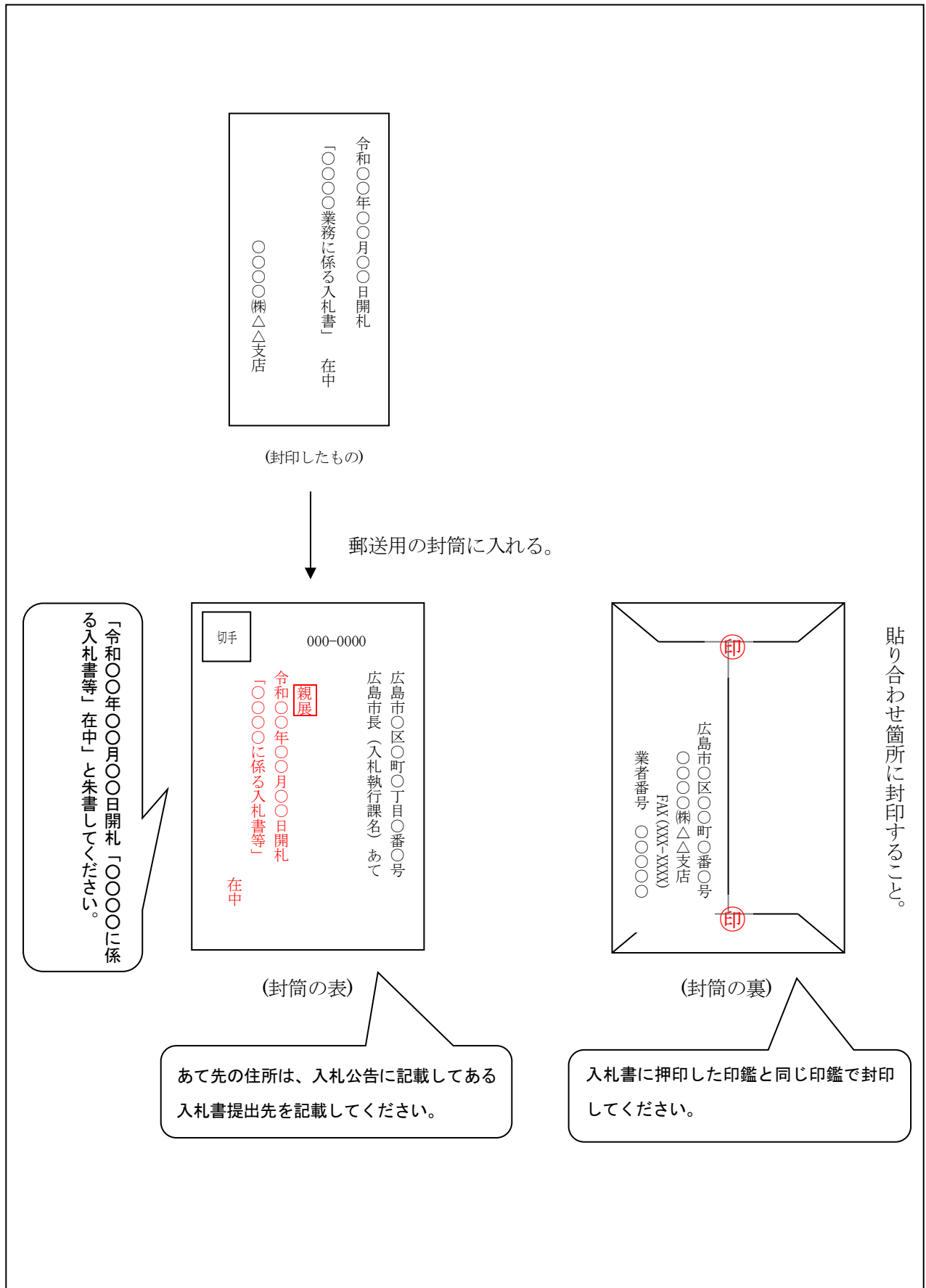
郵送・封印に当たっての具体的な方法は、以下の図を参照して次の1から2の順に封印等を行ってください。同様に、3の封印等を行ってください。

※ 1から2の順に封印したもの及び3を同封できる場合は、同封しても良いが、封筒の表面には「〇〇〇〇に係る入札書及び提案書等」在中の表示（朱書）に変更すること。

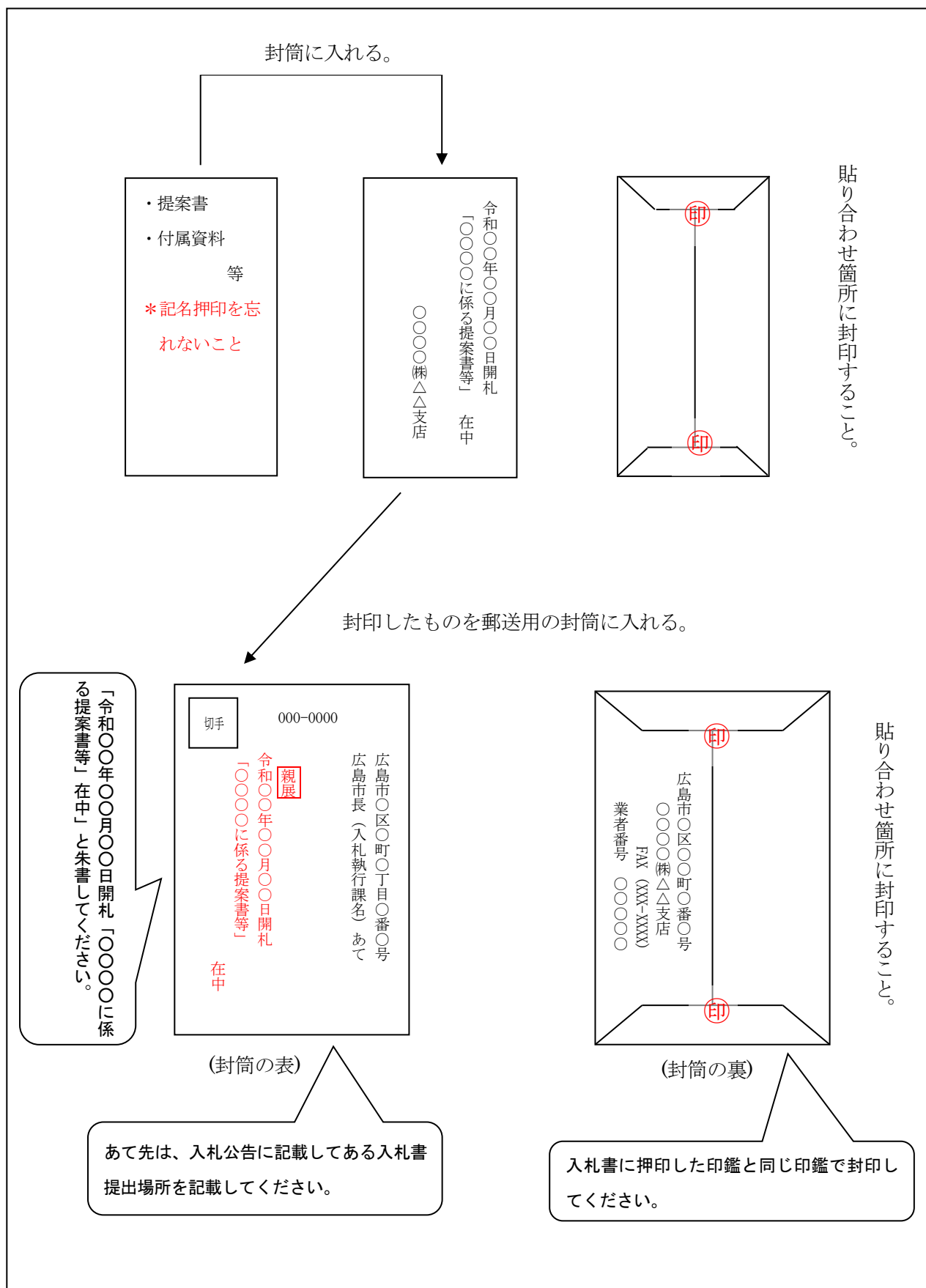
1 入札書の封印



2 入札書（封印済）の封入



3 提案書の封入



II 提案書等作成要領

提案書等は、入札参加者が主体となって作成し提出すること。また、提案書等の作成に当たっては、仕様書等を踏まえた提案とすること。

なお、本契約の委任を行う場合には、契約約款第4条に基づき委任に係る承諾を行う予定であることから、委任に係る実施体制や範囲等を明確に記載すること。

1 提案書等として提出する書類

本件入札に係る提案書等として以下の書類を提出すること。

- (1) 提案書：本書1部及び評価用15部
別記「提案書に記載する事項」に対する提案書を作成し提出すること。
- (2) 付属資料：本書1部及び評価用15部
上記を補足する付属資料を作成し提出すること。

2 全般的な留意事項

- (1) 提案書等の記述は日本語とする。ただし、一般的に認知されている商標や略称等は除く。
- (2) 総合評価一般競争入札では、入札参加者から提出された提案書等に基づき評価を行い、記載内容に応じて点数評価するため、入札参加者の提案内容が理解しやすいように提案理由、実現する方策及び技術、提案する方法・範囲・対応策などを具体的に図示又は記述すること。
- (3) 落札者の提案内容は、本契約の追加仕様として添付するので、提案に当たっては入札書に記載した金額の範囲内で実現可能なものを記述すること。
- (4) 提案内容において仕様書等にはない追加事項等がある場合、入札書に記載した金額に含まれる経費としてすべて落札者の負担とする。
- (5) 本書となる1部は、入札書に記載する商号や代表者名等を表紙に記載し、入札書に押印する印鑑と同一のものを使用して押印し、封印の上で提出すること。
- (6) 提案内容を公平かつ客観的に評価するために、商号等の記載及び押印がない提案書（評価用）及び、提案書付属資料（評価用）（以下、これらを「提案書等（評価用）」という。）を各15部作成するとともに、当該提案書の内容を記録したCD-R又はDVD-R等の光学メディアを1枚作成して提出すること。
- (7) 提案書等（評価用）の作成に当たっては、入札参加者（提案書の作成者）の商号や入札参加者の商号等を類推できる表現を使用しないこと。
提案書（評価用）に添付する、履行実績を満たしていることが確認できるものの写しに入札参加者（提案書等の作成者）の商号等が記載されている場合（入札参加者が類推できる表現の記載を含む）は、該当箇所を黒塗りするなどし、判読できないようにすること。

3 提案書（前記1(1)）作成上の留意事項

- (1) 提案書は、正確な評価を行うために、別記「提案書に記載する事項」の項目順にまとめ、表紙、目次及びページをつけること。
なお、表紙様式は、広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、前記「I 入札全般に関する事項」8(1)ア及びイにより交付する。
- (2) 提案書は、A4縦置き・横書き、A4横置き・横書き又はA3横置き・横書き、本文のフォントサ

イズは11ポイント程度以上とする(A4及びA3のいずれも片面のみ可)。なお、A3用紙を使用した際は、見開きしやすいよう必ずA4用紙と同じ大きさに折りたたむこと。

(3) 提案書は、左肩1点を綴じて提出すること。

(4) 提案内容は、以下に示すものとする。

ア 仕様書の本市の要求事項に対し、別記「提案書に記載する事項」に示す各項目の記載内容に基づいて記載すること。

イ 記載にあたっては、専門用語を多用しない等、分かりやすさ、読みやすさに努めること。また、イメージ図、写真などを効果的に用い、具体的に記載すること。

ウ 仕様書に示す本市の要求事項を基本として、提案者の経験や知見を活用し、本調達が最大限の成果を上げるための提案を行うこと。

エ 記載にあたっては、具体的な根拠を伴い、その実現を確認できるものであること。

(5) 以下に示す提案内容とならないよう留意すること。

ア 提案書作成上の留意事項に反したもの

イ 提案内容が抽象的で内容を把握できないもの

ウ 提案の表現が曖昧で実現性を判断できない又は提案の実行性の有無を確認できないもの（実現するための根拠に欠け、仕様書等を満たさないおそれがあるもの）

エ 提案内容に明確な効果が認められないもの

オ カタログやパンフレットだけの提案

カ 「仕様書のとおり」といった記述に終始しているもの

(6) 提案書が仕様書を満たしているかについて、「機能要件対応回答書」(第7号様式)に仕様に対する適否を記入して提出すること。回答欄には提案の内容、装備品の品名、数量等を記入すること。回答欄が不足する場合には適宜別紙等を使用すること。

(7) 性能についての提案を行なうため、以下のとおり提出すること。

ア 各能力判定表の算出の基となる「形態別の装備済み空虚重量」について、「重量表」(第8号様式)に記入すること。

イ 各能力判定表の算出の基となる「待機時の燃料搭載量」について、「待機時の搭載燃料の設定」(第9号様式)に記入すること。

ウ 山岳救助能力について「山岳救助能力判定表」(第10号様式)に記入すること。

エ 空中消火能力について「空中消火能力判定表」(第11号様式)に記入すること。

オ 救急搬送能力について「救急搬送能力判定表」(第12号様式)に記入すること。

カ 長距離輸送能力について「長距離輸送能力判定表」(第13号様式)に記入すること。

キ 端数がある場合には小数点第2位を四捨五入すること。

(8) 騒音についての提案を行なうため、「騒音判定表」(第14号様式)に記入して提出すること。

(9) ランニングコストについての提案を行なうため、以下のとおり提出すること。

ア 部品費について「ランニングコスト判定表」(第15号様式)の該当欄に記入すること。

イ 燃料費について「ランニングコスト判定表」(第15号様式)の該当欄に記入すること。

(10) 整備日数についての提案を行なうため、「点検整備に要する期間」(第16号様式)に記入して提出すること。耐空検査等の点検を受注者以外の者が行うことを想定している場合には、受注者が機体の組立て又は修理改造を委託する予定の者の証明書(第17号様式)を添付すること。

4 付属資料（前記 1(2)）作成上の留意事項

- (1) 付属資料の記載は、原則として日本語とする。
- (2) 付属資料は、左肩 1 点を綴じて提出すること。
- (3) 付属資料は、表紙、目次及びページをつけること。
なお、表紙様式は、広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、前記「I 入札全般に関する事項」8(1)ア及びイにより交付する。
- (4) 各提案書に記載した数値の根拠となる資料を添付する際には、該当部分マーカー等で着色するなど確認しやすいようにすること。性能表等を用いている場合には、読み取った数値を記入すること。元のデータが外国語標記の場合には適宜注釈を入れる等確認しやすいようにすること。
- (5) 端数がある場合には小数点第 2 位を四捨五入すること。
- (6) 性能についての提案を行なうために使用した根拠資料を以下のとおり提出すること。
 - ア 「重量表」（第 8 号様式）の記入に際して、重量の設定に使用した根拠となる資料全て。
 - イ 「待機時の搭載燃料の設定」（第 9 号様式）の記入に際して、「燃料消費率」の根拠となる資料。
 - ウ 「山岳救助能力判定表」（第 10 号様式）の記入に際して、「地面効果外（OGE）ホバリング可能重量」の根拠となる資料。
 - エ 「空中消火能力判定表」（第 11 号様式）の記入に際して、「地面効果外（OGE）ホバリング可能重量」の根拠となる資料。
 - オ 「救急搬送能力判定表」（第 12 号様式）の記入に際して、「広島ヘリポートからの離陸可能重量」の根拠となる資料。
 - カ 「長距離輸送能力判定表」（第 13 号様式）の記入に際して、「広島ヘリポートの離陸可能重量」、「最大航続距離速度」及び「燃料消費量（最大航続距離速度）」の根拠となる資料。
- (7) 騒音についての提案を行なうために使用した騒音値の根拠として、「飛行規程の騒音に関する事項を示したページ」または「製造国の航空当局の発行した騒音に関するデータシート」の写し。
- (8) 「点検整備に要する期間」（第 16 号様式）の記入に際して、「点検基準」の根拠となる、機体メーカー及びエンジンメーカーの定めた点検項目等を示した資料。
- (9) 「訓練」について提案する場合は、以下のとおり提出すること。
 - ア 「訓練コースの機体メーカー認定の有無」を提案する場合には、認定の内容が判る資料を添付すること。
 - イ 「訓練教官の機体メーカー認定の有無」を提案する場合には、認定の内容が判る資料を添付すること。
- (10) 「運航及び整備に対する支援」について提案する場合は、以下のとおり提出すること。
 - ア 「整備作業における機体メーカーの認定状況」を提案する場合には、認定書の写しを添付するとともに、認定のランクが判る資料を添付すること。
 - イ 「整備体制」を提案する場合には、「納入予定の機種の有資格整備士の数」及び「全ての有資格整備士の数（納入予定の機種の有資格整備士の数を除く）」が判る資料を添付すること。
 - ウ 「整備実績」を提案する場合には、契約書等履行実績を確認できるものの写しを添付すること。
実績が 20 件以上有る場合には、添付する資料は 20 件まででよい。
- (11) 提案書等において、障害者施策に対する取組状況を記載した場合は、障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号以下「障害者雇用促進法」という。）第 43 条第 7 項に基づく報告義務のある者は、障害者雇用状況報告書（事業主控）の写し（公共職業安定所へ提出したもの）を、

報告義務のない者は、障害者雇用状況調書（第18号様式）を提出すること。

なお、障害者雇用状況調書の様式（第18様式）は、広島市のホームページからダウンロードできる。ただし、これにより難しい場合は、前記「I 入札全般に関する事項」8(1)ア及びイにより交付する。

- (12) 提案書等において、ISO14001若しくはISO14005の認証取得状況又はエコアクション21の認証・登録状況を記載した場合は、登録証及び認証範囲のわかる付属書の写し（認証された事業所・範囲・有効期限が確認できるもの）を提出すること。
- (13) 提案書等において、子育て支援施策に対する取組状況を記載した場合は、労働者が100人以下の事業所の場合は所管都道府県労働局に提出した行動計画書の写し（労働局の受理印のあるもの）を、労働者が101人以上の事業所の場合は所管都道府県労働局が発行した基準適合一般事業主認定通知書の写し（※次世代育成支援対策推進法第12条第1項の規定に基づく、労働者が100人を超える事業所の「一般事業主行動計画」の策定については、評価の対象とならない。）を、「子供と家族・若者応援団表彰（旧：子ども若者育成・子育て支援功労者表彰）」の表彰を受けている場合は表彰状の写しを提出すること。
- (14) 提案書等において、男女共同参画に対する取組状況を記載した場合は、申請日前5年以内に表彰を受けた表彰状の写しを提出すること。

5 その他

ヒアリングでの入札に参加した者によるプレゼンテーションは、提案書に記載する事項の「先進的な安全装備品」、「訓練」、「運航及び整備に対する支援」を実施するものとする。

Ⅲ 落札者決定基準

入札参加者から提出された入札書及び提案書を評価し、落札者を決定する。

- 1 下表により技術点（５８０点）と価格点（２９０点）を合計し、最高得点となったものを落札者とする。
- 2 技術点は、消防ヘリコプターの調達総合評価審査委員会に出席した委員が各項目を採点し、出席した全委員の採点結果を平均して算出する。
- 3 最高得点となった者が二名以上いる場合は、技術点が最も高いものを落札者とする。
- 4 3に該当するものが二名以上いる場合は、当該者のくじ引きにより落札者を決定する。

なお、消防ヘリコプターの調達総合評価審査委員会に諮り、最終的に決定する。

区分	点数	採点基準
(1) 技術点	５８０点	<p>技術点は、５８０点満点とする。</p> <p>「提案書に記載する事項一覧」の「提案書に記載する事項」について、「評価基準」に基づき評価し、「配点」欄の点を最大値として配点する。</p> <p>「提案書に記載する事項」の必須項目について記述がない又は本市が求める要件を満たさないものがある場合は、合計点に関わらず、失格とする。</p> <p>「評価基準」ごとに小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位表示とする。</p>
(2) 価格点	２９０点	<p>価格点は、２９０点満点とする。</p> <p>入札参加者それぞれの入札価格と予定価格とを次式により計算し、価格点を算出する。</p> $\text{価格点} = 290 \times \left[1 - \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \right]$ <p>小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位表示とする。</p>
合計	８７０点	